

## 役割の自覚

# 各教員に役割のある校内研究

校内研究を活性化させるために、校内研究を推進する教員として、管理職、校内研究主任、各学年から選出した2名、特別支援学級から選出した1名で構成した校内研究推進委員会を立ち上げました。定期的に校内研究推進委員会で校内研究をどう進めていくのかを話し合い、決定しました。

さらに、校内研究推進委員とは別に、校内研究グループリーダーを選出しました。グループリーダーは、校内研究会では各グループ協議会を推進し、全体会で交流できるように、それぞれのグループの協議内容をまとめました。



校内研究推進委員会



校内研究グループ交流会

校内研究会の前日には、グループリーダーが、目的や内容、進め方について打合せを行います。



校内研究主任が一人で校内研究を活性化するのは無理があると思い、このように校内研究推進委員とグループリーダー合わせて20名の教員に校内研究の推進を担ってもらいました。これは本校の全教職員の約3分の1の人数であるため、校内研究を自分のこととして捉える教員が増え、学校全体で校内研究に積極的に取り組もうとする気運の高まりを感じました。

また、グループの編制については、各教員の課題意識を基に行っているため、課題解決に向けより自分のこととして校内研究会に臨む姿が見られました。  
(A中学校 校内研究主任)